

【経営の概要】

ハウスミカン、極早期（11月中旬加温開始）、早期加温（12月初旬加温開始）
78戸、19ha、830t（H19）のうち16園で調査

【対策の内容】

普及活動の目標	目標に向けた活動概要
低コスト栽培技術の確立	・ハウス天張り3重被覆、側面張り高効率保温シート被覆の推進
省エネ技術の検討と推進	・更なる省エネ技術の検討 他県の事例、試験研究事例など
樹勢強化による単収向上	・客土及び有機物投入の推進 ・計画的休園の実施支援



側面外に高効率保温シートの導入



側面内に高効率保温シートの導入

【対策の実践効果】

保温技術改良施設のコスト削減調査（平成19年収穫分）

被覆方法	調査ハウス数	A重油代金(円)	3重骨材代金(円)	追加ビニール代金(円)	合計(円)	①対比経費縮減率(%)
天農ビ2重	2園平均	1,473,448	0	0	① 1,473,448	100
天農ビ3重	5園平均	1,115,507	11,800	76,252	1,203,559	82
天ポリ3重	5園平均	1,045,453	11,800	70,731	1,127,984	77
天3重+サイド保温	4園平均	965,775	11,800	93,975	1,071,550	73

り3重+側面高効率保温シート被覆すると、天2重に比べて約27%経費節減できることが解った。

- ・県単事業の活用により、保温技術改良導入が平成17年度は17戸298a、18年度は4戸65aで実施され省エネとなっている。

【今後の課題】

- ・効果実証できた技術を更に普及させる。
- ・変温管理技術の導入を検討する。

- ・更なる省エネ技術を検討する。
- ・再生産が不可能な園地においては、他作物への転換を支援する。

【問い合わせ先】

徳島県 阿南農業支援センター 電話：0884-24-4182